

# 慈雲

1 2 号

2010/3

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町375番地

TEL/FAX (075)221-4616

[zui renji@nifty.com](mailto:zui renji@nifty.com)

SinsyuuOotaniha

JiunzanZui renji

Jiunkai

恭敬大王 澡浴清浄

以酥蜜和麩 用塗其身

諸瓔珞中 盛滿桃漿

密以上王

## 【『觀經』の言葉】

韋提希夫人は、息子によつて幽閉されている夫である大王を敬う心から、自らの体を清め小麦粉と蜜をまぜあわせて物を身に塗り付けて、また身に着けているあらゆる宝飾の中にぶどう酒を入れて、門番に見つからないように密かに王に運ぶのです。

ここは王と后というよりもどこにでもいる一組の夫婦の間の情の通いが感じられます。

夫婦は「別体同心」といいますが、ある方は「夫婦になつて初めて孤独を知つた」ともいわれました。いずれにしても人生の道行きの一歩の連れ合いでありましよう。

【帰敬式】

前号以降に頂いた帰敬式に臨まれた方のお話です。

「誓いのことば」

佐々木 林

ただいま、ご本尊の御前にて帰敬式を受け、法名いただきました。

仏様は真実の教えに出会い、人として生まれたことの大切さに気づくよう、私たちに教えてくだされていきます。

今日からは、これまで南無阿彌陀仏の灯を伝えていただいた多くの方のご恩をおもい「仏の子ども」としてこの灯を伝えていきます。

今日の良き日、報恩の心をいただき、片時も忘失ることなく相続します。父母の恩重きこと知る。

合掌

西澤 孝実

帰敬式のお話をお伺いした時に、未熟な私が法名を賜る事に少し迷いもありましたが、もう一度自分自身を見つめ直す機会ではないかと受けさせて頂きました。

「菩薩（求道人）のひとりとなって、仏さまの教えを聞き続け、この世に天の花びらをまく人になって欲しい」とこの願いを込めて、「妙華」という法名

を頂戴しました。

住職が名付け親となり、新しく誕生した私に授けてくださり、心より感謝しております。

これからは自分の法名の意味を理解し、学び、心の拠り所として、その名にふさわしい生き方をしてまいりたいと思います。有難うございました。

【お知らせ】

三月十八日（木）午前九時より

仏具のお磨きをいたします

三月二十一日（祝）

春の彼岸会法要を勤修します

午後一時より納骨堂を開きます

二時 お勤め

三時 法話

四時 お齋

四月二十五日（日）午後 時より  
岡崎別院（岡崎天王町）にて

山城一・二組

宗祖親鸞聖人七五〇回御遠忌  
お待ち受け法要

岡崎別院で仏教賛歌をうたう会

が催されます。

入場料は無料ですので、皆様お誘い合わせの上お越し下さい。

瑞蓮寺からも数名が参加しております。

【懇親会】

慈雲会ではこの度、檀家相互の親睦を深めるために、懇親会を企画しております。

日時は六月十二日（土）の午後四時からを予定しております。

まだ、企画の詳細は未定で、どの様な会になるか判りませんが、堅苦しい会では有りませんので、今までお寺に足を運ぶご縁の無かった方も、是非お越し下さいませ。

お子様の参加も大歓迎です。

今のところ、「一人一品」持ち寄りの座談会のような物を考えております。お酒も有りかな（笑）？

ともあれ、これからの瑞蓮寺を作っていく会にしたいと思っております。

楽しいアイデア等ございましたら、住職・慈雲会にお聞かせ下さい。

企画の参考にさせていただきます。と思っております。

慈雲会役員